

かべ新聞

第119号

2018年
7月13日

JR東海労働組合
新幹線地方本部
東京車両所分会

第11回分会大会成功裡に終了!!

<スローガン>

**JR東海労の未来を切り開くために
全力で組織内外に労働者的な共感を創造しよう!**

7月8日、大崎南部労政会館において第11回定期大会を開催しました。



はじめに、板倉分会長から「安倍政権は憲法改悪や働き方改革など、とんでもない法案を着々と押し進めています。私たちは、安倍政権の退陣に向け、各種集会に参加し声を出して行きます。」「大きな事故も多く発生しています。台車亀裂問題などは、会社の営利優先、要員削減、リニア開業に向けての経費節減によるものです。私たちは、他労組組合員に訴えると共に、関連会社で働く社員とも連帯を強化していきます。」「都労委の闘いは、審問が始まります。現場管理者のデタラメな対応を明らか

かにして行こう。」「構内操縦者にアルコール検知器による検査が導入されました。基準値を超えると勤務は『否認』となり帰宅させられ、賃金カットとさらに処分です。また、アルコール以外の食品にも反応するなど問題が多いので、廃止を訴えて行きます。」と挨拶されました。

二人の委員長ご苦勞様でした！ 新書記長と共に頑張りましょう！



先の本部大会で退任された小林光昭さん、同じく10年間地本委員長として奮闘された成田隆浩さんの労をねぎらい楯品を贈りました。



また、新たに地本書記長に就任された伊藤一也さんと新たに本部書記長に就任された本橋浩司さん（欠席）の二人にも今後のご活躍を祈念すると共に、分会一丸となって共に闘う事を確認し、分会から楯品を贈りました。

質疑では、職場の問題や設備・備品の諸要求、検修庫の老朽化対策など多種多様な意見が出されました。



木村書記長の総括答弁では「本部、地本大会で新たな役員体制が発足しスタートした。分会からも支えていく！」「出向先の労働条件改善の闘い。」「都労委の審問には全組合員が参加しよう。また、ボーナスカット、年休裁判にも参加して共に闘っていく！」「アルコール検知器の廃止に向け闘おう。さらに基準値の緩和や勤務の認証を否認ではなく、年休とする等、幅を持たせた運用を追求しよう！」「他労組・関連会社の仲間とも諸要求解決に向け共に闘って行こう！」「あらゆる組織破壊策動を許さず、JR総連に結集する仲間と共に頑張ろう！」と総括答弁を行いました。

向こう一年の方針を満場一致で確認し、分会長の団結ガンバローで大会を終了しました。その後、会場を移動し、「勇退激励会&専任社員激励会」を開催しました。

勇退激励会&専任社員激励会開催！

柳澤さん、依里さん『勇退激励会』&
小林さん、布施さん、石尾さん
『専任社員激励会』を開催！

第11回分会定期大会後、柳澤弘志さん（5月末）、依里文明さん（6月末）が専任社員満了となりOBとなりました。これまでのご奮闘の労をねぎらうと共に今後はOBとしてのご活躍とご健康を祈念し『勇退激励会』を開催しました。

また、小林光昭さん（3月より）、布施喜一さん（6月より）が専任社員となりました。石尾光春さんは、8月より専任社員となります。ひとつの区切りとして『専任社員激励会』を開催しました！

多くの組合員・OBの皆さんの参加で大いに盛り上がりました！

